

鉄道施設
の検査等

安全性向上に貢献

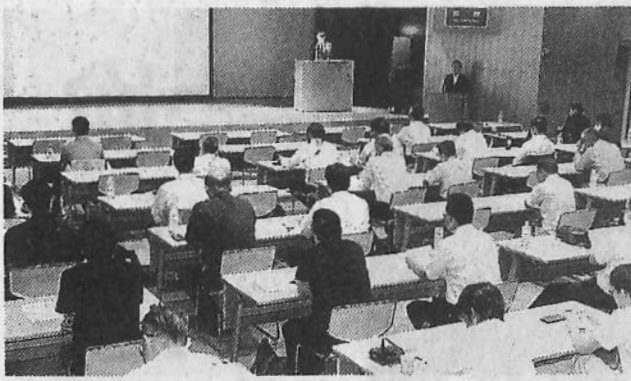
福井県コンクリート診断士会が総会

会員数は全国最大

学生向け現場学習会に協力するなど、コンクリート構造物診断のスペシャリスト集団として技術力を発揮。社会の持続可能な発展に貢献していきたい考え。

設立20周年迎え記念事業

福井県コンクリート診断士会（山川博樹会長）



の2023年度定期総会は28日開かれ、22年度の事業報告・収支決算、および設立20周年を迎え記念事業にも取り組む23年度の事業計画・収支予算案などを慎重審議し、原案通り了承した。



山川 博樹 会長

会場は、福井市宝永3丁目の県国際交流会館で写真。冒頭、山川会長が挨拶。「今年はこの設立20周年。正会員数も19年に大台の150人に到達（全国最大規模）。人口10万人当たりの登録者数は、福井県が7年連続し全国首位」と先進性を強調。「鉄道施設の検査・診断支援を行う、ハピライン

ふくいも含む（同士会、福井鉄道、えちぜん鉄道）4者で、地域社会全体の安全性向上に貢献したい」と意欲を示した。23年度も引き続き、県道路メンテナンス会議の

演題 チームマネジメント

総会後には、第131回の研修会を開催。福井



中垣内氏

工業大学教授で、バレーボール元全日本主将の中垣内祐一氏を講師に招き、演題「東京五輪に向けたチームマネジメント」を聴いた。